



•珈琲飲みながら……

輝いて 新しい波を 起したい！

★ご紹介

昭和10年7月23日生まれ、画家伊東深水を父とし東京築地育ち、昭和26年宝塚音楽学院に入学、31年松竹と専属契約、34年松竹を離れ、舞台、映画、テレビ、歌に幅広く活躍、60年日本舞踊「深水流」を創流、全国に千人余の弟子をもつ。

この六月、大阪歌舞伎座で「滝の白糸」を上演するのをキヤンペーンや関係先へのごあいさつ回りに来神された朝丘雪路さんにお会いしました。「珈琲を飲みながら」抱負あれこれをお聞きしました

★宇崎竜童のロックにのせて
若ものにも判る「滝の白糸」を
この六月に大阪で「滝の白糸」をやります。新派の名狂言ですね。それを若い人にも十分に楽しみ納得できるお芝居にします。それには「明治一代女」同様に宇崎竜童さんのロックミュージックをバックに使つたり新演出で挑戦します。もっとも新派の名狂言は52年に「鶴八鶴次郎」を帝劇で、61年に「明治一代女」を新橋演舞場でやりましたから三度目の挑戦となります。

私が新派にいたとき、恩師花柳章太郎先生は「俺の芝居を真似しろ、徹底して真似しろ、それが新しい芝居を生むんだ」とよくいわれました。

★神戸は第二の故郷です
東京築地に生まれ銀座育ちですが、宝塚歌劇団にいた頃は暇をみつけたは神戸へよくきましたから、神戸は第二の故郷です。くるたびごとに美しく清潔になつていますね。若い人が神戸へ旅して、神戸ファッショニに憧がれ買い、異人館巡りを楽しみ、コーヒーをのみ、ケーキをたべるのがブームになつてゐるのも、うなずけますね。

新派も百年です。いま新派の方々が伝統を守るに必死なのは大切なことです。私は「新しい波」の新派、つまり「新波」としての名狂言の再創造をしてみたいのです。おこがましいようですが、いまになつて章太郎先生のお教えがわかつてきただよに思われます。

「明治一代女」をやりましたとき高校生がおばあちゃんにつれられてみにきて大感激して手紙をくれました。



オリエンタルホテルのスカイラウンジで
ピンクのニットフェアがやさしい朝丘雪
路さん。「新波」と名附けて現代の「新
派」をめざす「滝の白糸」に夢をかけて
熱い想いを話す朝丘さん。

お友達をつれてまた観てお友達も手紙をくれました。樂
屋へ貼りだして一同大感激。つまり若い高校生に「明治
一代女」が分かってもらえたという嬉しさですね。こん
どの「滝の白糸」も同様に宇崎竜童さんのロック音楽を
ふんだんに使います。この物語はご承知の通り泉鏡花の
原作ですね。水芸の女旅芸人が苦学生を援助する。金の
工面から誤って座元を殺害する。裁判官に出世した苦学
生の法の裁きのもと、裁判官はピストル自殺、女旅芸人
は舌をかみ自殺する。これを新派悲劇調に暗くお涙頂戴
式にせず、あくまで女と女の純愛物語として訴えたいの
です。初めて知った恋心の嬉しさ、苦しさ、愛し信じた
男を信じて従う女心のいじらしさ、強さ、明治という風
俗のなかで、つまり新派名狂言のよさを失わず、その背
景のなかで新鮮な感覚として訴えてみたいのです。ご期
待ください。

★ 日舞の世界でも「新しい波」を

日本舞踊では「深水流」(しんすいりゅう)の家元に
なっています。創流は昭和60年東京歌舞伎座でのお披露
目舞踊会です。きっかけは56年に「曾根崎心中」(三越
劇場)で芸術祭優秀賞を頂いたり、59年にはニューヨー
クのカーネギーホールで「ジャパン・TODAY」で大
好評を博したことなどが創流を決意させたかともいえま
しょうか。もともと「深水流」は舟橋聖一先生のご発想
なのです。「二代目に名人なし」の格言の通り美人画家
伊東深水を継ぐ者はいないがせめて深水の名だけでも残
したい。それは「深水流」として雪路を家元にすること
だと父との約束でもあったようです。

日舞はもともと花柳流で三之輔先生に師事しましたが
ご了解を得てふみきりました。「曾根崎心中」のように
ロックミュージックなど使う新舞踊の一方、古典舞踊も
忘れず、つまり「滝の白糸」のように日舞の世界でも
「新しい波」を創造したいのです。来年のリサイタルに
は「椿姫」を、などとあれこれ想をねっています。お陰
様でお弟子さんも千人余になりました。ご声援ください。

昨秋、神戸商工会議所・専務理事の激職から解放されたのを機に、かねての念願であった「観音霊場・札所巡り」を、実行に移すことと致しました。幸に、天候に恵まれたことと、できることなら、娘の一周忌に間に合わせたい、とハッスルした結果、当初の計画をはるかに上回り、一ヶ月余で西国三十三カ所を、引きつづき、二カ

月余で新西国霊場を、ともに、滞りなく巡拝し終り、ほつと、肩の荷をおろしたところでございます。そんな或る日のことでありました。

★出会いの旅

札所巡り

山田昇一

ここからスタート、第1番札所
那智山青岸渡寺

神戸商工会議所 参与



奈良町資料館は、猿沢池の南、徒歩で数分の町なかに、隣接の「庚申堂」とともに、ひっそりとたたずんでおりました。入館の挨拶もそこそこに、くだんの仏像のもとへと急いで私ども夫婦は、一瞬、声もなく、その場に立ちすくんでおりました。似ておりました、親の欲目を大幅に割引いても、よく似ておりました。鼻すじ、口もと、ほほ、おとがい、細めで、やや華奢な感じがする、腕から指先まで、本当によく似ているのです。

「この仏さんは、先祖代々秘仏として、蔵の奥深く納められておりました。ところが、この度、シルク・ロード博が開かれるのを機会に、関係各方面からのおすすめもあって、取りあえず、三月一ぱい、ということで、はじめて公開にふみ切ったのです。従って、私自身、六十三才の今日まで、この仏さんを見たことはありませんでした。今回、生れてはじめて、拝観できたような訳なんですよ……。それにも、確かによく似ておられましたね。これは、奈良町資料館の館長さんでもあり、庚申堂の庵主さんである、南治さんが、娘の写真と見くらべながらのお話でした。

「あつ!! 典ちゃん……?」
この四月下旬からはじまる、「奈良シルク・ロード博」、



左・県下の名称二十七番書寫山圓教寺
上・今は亡き山田典子さん
右・昇龍觀音

恐らく、台座の龍の飾り彫にちなんだものであります。又、掲示されている説明によると、この仏さんは、唐の時代の六世紀ごろ、敦煌近辺の西域で発見された、ガンドーラ系石仏で、シルク・ロードを、らくだの背にゆられながら、いつの頃か、はるばる日本に渡ってこられたもの、従って、別名を「絹觀音」とも呼ばれていました。

写真をとったり、まして、秘仏に手をふれるなど、もつてのほかのことでありますのに、"そのようなご事情でしたら"と、ガラスの扉を開けて、そつと、仏さんのほほをなでさせて下さった、南館長さんのご厚情は、涙が出るほど嬉しく、近日中の再訪、再々訪をお約束して、館をあとに致した次第です。

冒頭に記しましたように、西國、新西國、と二つの觀音靈場を、全行程夫婦揃って、しかも、一つの例外もなく順番通りに、巡拝し終り、この程、立派に表装された「集印軸」を前に、家内とともに、ささやかな満足感に浸っていたその矢先のできごとでしたので、"二人とも、よく頑張ったね"と、成仏した娘がほめに来てくれたように思えてならず、なんとも言えない、しみじみとした心の安らぎを覚えた次第です。

「札所巡り」の功德だったのでしょうか。

“楠公さん”

「劇的な人間像・楠正成を忘れたならあかん」

■出席者

吉田智朗

（元神戸新聞社宮司）

荒尾親成

（元南蛮美術館館長・郷土史家）

垣田時也

（甲南女子大学教授）

佐野漣箕

（元神戸新聞取締役・芸能評論家）



「楠公さん」と親しまれてきた湊川神社、その鎮座百年の記念事業の一つである「湊川神社史」

三巻が完結し「出版謝恩の集い」が催されました（63年3月25日）。

そしてこの5月24日、25日は

神戸っ子に親しまれてきた「楠

公祭」です。そこでこれを機会

に吉田智朗宮司を囲んで事業に

関係された荒尾親成（元南蛮美

術館館長・郷土史家）、垣田時也

（甲南女子大学教授）、大森尚

（毎日放送資料部部長）、佐野

漣箕（元神戸新聞取締役・芸能

評論家）の各氏にお集まり願い

編さんのご苦心や「楠公さん」あ

れこれ」と題してお話をしていた

だきました。

★湊川神社史三巻

完結までの18年

大森 完結されて宮司さん、ほ

つとされたことでしょう。その

いきさつは。

吉田 明治5年がご創建で昭和

47年が鎮座百年大祭でした。こ

の百年大祭の記念事業、それも

メーンの一つに神社史をと最初

三人の方にお願いしましたが、

結果森田康之助博士お一人の労

作となりました。昭和43年の春

にお願いして53年に景仰編刊、

59年に祭神編、そして62年に鎮

と大きな違いです。

楠公さんが出てきます。今

座編刊ですから実に18年の長い歳月でした。

垣田 神社司にとどまらず日本近代の正統的な文明編といつてよく、すばらしく内容豊富です。島崎藤村は大作「夜明け前」の末尾で青山半蔵に「すべては神のままに」といわせていましたが、まさにこれも神のみ心のままにですね。

大森 鎮座編で「学校教育と楠公」の資料を提出させてもらつたのですが、父が神港商業に奉職していた関係もあり、神港商業、神戸高商とあらゆる学校教育に楠公さんが出てきます。

楠公さん

（毎日放送資料部部長）、佐野

漣箕（元神戸新聞取締役・芸能

評論家）の各氏にお集まり願い

編さんのご苦心や「楠公さん」あ

れこれ」と題してお話をしていた

だきました。

★湊川神社史三巻

完結までの18年

大森 完結されて宮司さん、ほ

つとされたことでしょう。その

いきさつは。

吉田 明治5年がご創建で昭和

47年が鎮座百年大祭でした。こ

の百年大祭の記念事業、それも

メーンの一つに神社史をと最初

三人の方にお願いしましたが、

結果森田康之助博士お一人の労

作となりました。昭和43年の春

にお願いして53年に景仰編刊、

59年に祭神編、そして62年に鎮

と大きな違いです。

楠公さんが出てきます。今



佐野 淳策氏



大森 尚氏



垣田 時也氏



荒尾 親成氏



吉田 智朗氏

佐野 石碑に対してこの三巻を「紙碑」の建立だといつていますがその通りです。これは森田博士という適任者と学者である宮司さんとの熱意の両輪あってのこと、宮司さんは「明（あか）せる史（ふみ）のわが魂ゆする」と歌をよんでおられます。が、誰しもの魂ゆする大作です。

★楠公はんを忘れたアカン

荒尾 福原も新開地も、神戸は楠公さん中心に発展してきた。

大黒座の芝居 大相撲。この4

月で満85歳になるが、昭和10年の楠公六百年祭は大変な賑わいやつた。開港50年とも重なり観艦式もあり、いま湊川公園に残る楠公銅像もこのときの記念像で戦争中でも楠公像というので供出をまぬがれたのです。

大森 神港商業の校門のイルミネーション、まだ眼に浮かびます。楠公さんを忘れたらいけません。

垣田 忘れたから新開地もさびれたといえませんか。神戸まつりも楠公さんを忘れてます。楠公はんといって親しんできたんですから。

★劇的なる日本人としての楠公

佐野 しかし、楠公が歴史に登場するのは僅か5年足らずです。元弘元年（一二三一）8月、後醍醐天皇笠置行幸のお召

J R西日本ご指定

株式会社 **淡路屋**

中央区相生町3-1-1

電 351-1682

創業明治元年

 **西水總序店**

中央区多聞通3-3-15

電 382-0080

記念品・贈答品

平山商会

神手駅前

電 351-1551

から延元元年（一三三六）の湊川殉死までです。野望のため謀反してゆくなきに楠公のみが理想に生き理想に死ぬ。しかも一族、その手勢まで一人の造反者もなく。この劇的な人間像、その思想は何なのか、考えますね。

垣田 天皇との出会いの感動が大きいでしょう。当時は公卿以上が人間扱いで、武家、まして士族などは人間以下ですから。六甲山へ逃げれば助かるものを。義貞など逃げましたからね。大森 太平記では「菊池武時を以て最高となす」で楠公の論功賞などは実に少ないです。怒つてしかるべきです。

吉田 北畠親房は「神皇正統記」で楠公無視、一行も書いていません。明治になって楠公は正一位を贈られましたから親房が知つたら卒倒したでしよう（笑）。

垣田 梅松論は武家側つまり足利びいき、太平記は公卿びいきですが両方とも楠公をほめていますし尊氏もほめています。日本の精神風土の中に脈々と生き人間像です。この意志とも違うし孔子のいう「士は己らざることを知りながら、平家滅亡のぎりぎりまで反抗しき抜くのが平知盛です。この意志

を知る人のために死す、犠牲は「札」という劇的なる日本人としての楠公の思想は考えてみると深いですね。

吉田 それが楠公父子だけではなく長く一族は幕府に発言しています。不思議な一族です。ある思想団体が湊川神社を利用しようとした。またある思想団体が極端に攻撃しようとしたがいずれも成功せず現在に。これは昔からの神戸市民の長い「親近感」がそれを許さなかつたのだと思います。孫文は「革命未だならず」と言って死んでいます。が、毛沢東より評価は高いですね。考えてみたい事柄です。

★大楠公展開催

佐野 協賛事業として「大楠公展」は二回やりました。47年5月の「大楠公父子展」は三越創業三百周年記念も重なり店長長沢大氏が大はりきり。当時はまだ国宝、重文が百貨店に展観許可されましたから。国宝後醍醐天皇の宸影、宸翰、繪旨、重文大塔官令旨はじめ、鎧、兜、刀剣、実に壯觀でした。60年、神戸そぞうの「大楠公展」も好評でした。

垣田 とにかくも心の故郷、楠公さんを忘れては世界のもの笑いになります。

△楠公会館にて△

大楠公

神戸市中央区多聞通
（湊川神社西側）☎（三四一）六六〇七

緒方耳鼻咽喉科医院

院長 緒方 重郎

中央区中町通3-1-17

※ 341-3711

心のふれ合う！

楽しいお買物とうまいものの街

神戸高速地下名店街

新開地駅タウン↔神戸駅タウン
n メトロこうべ

新開地駅タウン↔神戸駅タウン

定休日・毎月第3火曜日 ※ 341-3559 (事務局)

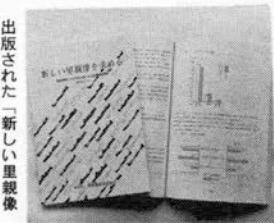
「新しい里親像を求める」 調査報告書を出版

昭和37年より兵庫県下を対象に神戸新聞およびラジオ関西（大阪府下では毎日新聞）の協力で里親さがしの運動を続いている家庭養護促進協会神戸事務所では、この春「新しい里親像を求める」という調査報告書を出版した。（B5版、一四七ページ、一〇〇〇部）。

協会にはこれまでに二五、〇〇〇人を超える人たちから里子を育てたいという申し込みがあり、約一、六〇〇人の子どもに新しい里親を見つけてきている。しかしながらここ数年間は里親の申し込み者数も減ってきており、里子の委託数も年間四〇人前後と横バイが続いている。

里親を求める運動も年々難しくなってきていたため、今回の調査では第一にどのような人たちが里親になりうるのかを調べ、第二にこれから地域のなかからどうすれば新しく里親を見つけ、育てていけるのか、その効果的な方法をさぐるための基礎資料として実施したものである。

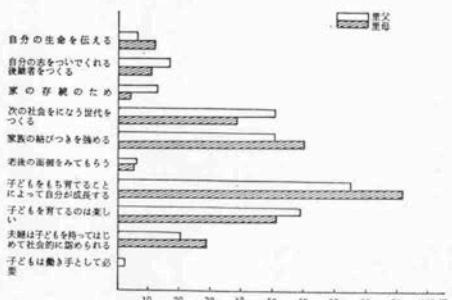
調査対象 協会の神戸事務所を通じて児童を委託し、現在、里親として里子を養育中の里父及び里母。
対象者数 里父59人 回収数56人 回収率94・9%
里母60人 回収数60人 回収率100%



出版された「新しい里親像を求める」調査報告書

面接調査時期 昭和61年7月15日～10月13日
調査方法 面接によるアンケート方式

他人の子どもを引きとめて育てている里親というのはよほど変わった人とかえらい特別な人なのではないかという先入観が世間にはあるよう感じられるが、この調査で浮かんできた里親の姿というのは、ごく一般的、平均的な日本人の姿であり、特別な意識をもち、特別な生



里親にとっての子育ての意味（調査報告書から）
里親にとての子育ての意味（調査報告書から）
里親たちよりも里親にかけられた。ただ、里親になつた人は一般家庭の親子よりもしばらく

橋本 明
(社団法人家庭養護
促進協会事務局長)



の間でも預かって育てた体験をもっている人が多い。子育てを家の存続のためではなく、「楽しみ」と感じている。預かる子どもの家庭背景についてはほとんど(九割)の人たちが「どんな事情の子どもでもよい」と考えている。また他人に対して世話を好きで、老親の面倒は自分たちでみたないと考えており、子どもは施設よりも家庭で育てられることが重要だと考えている人が多い。このような点



新春の里親家庭の交流会

を強める」「子どもを育てるのは楽しい」などの回答が多い。

里親運動をすすめている協会への希望としては「協会の存在をもつと広く知らせるべき」を第一にあげ、二番めには「里親の申し込み窓口をもつと身近にしてほしい」をあげている。

この調査結果から、今育てている子どもに満足を感じ、充実した生活を送っている健康な里親の姿が浮き彫りにされたが、これから新しく里親を求めていくためにいくつかの課題も与えられた。

まず「里親という言葉をいつから知ったか」という問題に対し、「大人になってから」や「子どもを預かりたい」と思いはじめてから」という回答が八割を超えている。このことから考えると里親制度については社会にはほとんど知られていないと思えるのでこの制度への知識や理解をひろげていく努力はより一層なされなければならない。そのためには小学校からの里親教育も必要にならなくなるだろうし、これから家庭を築いていく若い夫婦への制度を紹介していくような工夫も考えていかねばならないだろう。さらに、子育ては楽しい、と感じる親になるためのプログラムも実施していきたい。

また最近の里親を希望する人たちは育児について知る機会が少なくなっているので、里親になりたい人たちのための研修や講座も考えてみたい。

さらに、里親を含め、一般家庭のさまざまな親子の諸問題に適切に対応するための、情報センターとしての役割を協会としても考えており、今その準備中である。貴重な調査から与えられた課題を、これから長期的な展望に立ってできることから実現していきたいと考えている。

里親自身の生活や意識の面では、里親は育てている子どもに満足しており(里父100%、里母99・1%)、引きつてから一年以内に里親の六割が親子の実感を感じている。夫婦仲もよく、子どもを引きつてから四割近い里親が、「夫婦仲がさらによくなつた」と答えており、家庭の満足度も高い。「子育ての意味」についてはほとんどが「自分の成長」と答えており、「家族の結びつき

★ご希望の方には報告書を実費(一冊九〇〇円、送料二五〇円)で頒布いたします。お申し込みは協会の神戸事務所まで。

電話(〇七八)三四一一五〇四六。

神戸クラシックムービーフェスティバル

浪漫がいっぱい

KOBEより銀幕に愛をこめて

“あの頃の”映画の魅力とは一
体何だろう。ストーリー、音楽、
俳優、カメラワーク etc. . .

溢れんばかりの宝石箱にも似たこ
の不思議な感覚を“感動の名作”

“夢いっぱい”というお定まり
の一言で片付けてしまうことに躊
躇する。そもそも映画が初めて日
本に上陸した地点は神戸。これを
記念して昨年4月29日に「メリケン
シシアター」が創作され、早く
も一年が過ぎた。この「メリケン
シシアター」のスター・ストーンに
名を連ねた“あの頃の”スターの
映画が「第10回・神戸クラシック
・ムービー・フェスティバル（於・
新アサヒ劇場）」で5月28日（金）
より次々と上映されることが決ま
った。目の前に大きく広がる銀幕
と映画館という名の暗闇がまたも
や映画ファンを魅惑し陶酔させ
る。“あの頃”的映画の魅力を再
び伝えるために。

61年春に始まった「神戸クラシ
ック・ムービー・フェスティバル」
は今回で遂に10回目を迎える。新
アサヒ劇場、アサヒシネマ両劇場
で約2年にわたって行なわれたフ
ェスティバルの昨年リストは左記
の通り。今回もラブロマンスあ
り、ミステリーあり、ミュージカ
ルと豪華な9作品が並ぶ。また、
今回のフェスティバルでは香港旅
行が当たるチャンス（7月1日抽
選）もあります。

● フェスティバル前夜祭
時・5月27日（金）
夜7時30分より（開場は7時）
所・新アサヒ劇場
アサヒシネマ（入場無料）
神戸市中央区雲井通5丁目
2番1号（中央区役所北）
TEL 221-0626

名場面集、特別ゲストによる解説
香港旅行やスチール写真などが当
たる抽選会、パネル展 etc. . . その
他盛りだくさんの内容を企画中！

“神戸クラシックムービーフェスティバル” FILMOGRAPHY

- 第1回 1986年3月15日～4月25日
「花嫁の父」「ローマの休日」「若草物語」「麗しのサブリナ」「噂の二人」「黄昏」
- 第2回 1986年6月7日～7月11日
「雨に唄えば」「哀愁」「心の旅路」
- 第3回 1986年9月20日～10月24日
「ティファニーで朝食を」「カサブランカ」「喝采」
- 第4回 1986年11月29日～12月19日
(クリスマス映画特集)
「クリスマスツリー」「ホワイトクリスマス」「サンタクロース」
- 第5回 1987年2月7日～3月20日
「誰がために鐘は鳴る」「モロッコ」「我が道を往く」
- 第6回 1987年4月25日～5月29日
「マイフェアレディ」「オズの魔法使い」「巴里のアメリカ人」
- 第7回 1987年9月19日～10月9日
「グレンミラー物語」「ベニーグッドマン物語」「6つの銅貨」
- 第8回 1987年10月10日～11月20日
(オードリー・ヘップバーン特集)
「ローマの休日」「ティファニーで朝食を」「麗しのサブリナ」「パリの恋人」
- 第9回 1988年4月9日～4月22日
(F・アステア & G・ロジャース特集)
「トップハット」「コンチネンタル」「スウィングタイム」



KOBE
CLASSICS MOVIE
FESTIVAL
Vol. 10

PROGRAM

5/28(土)～6/3(金) ローマの休日

＜監督 ウィリアム・ワイラー 1953年製作＞
ローマを訪問した小国の人々（オードリ・ヘップバーン）と新聞記者（グレゴリー・ペック）の恋の
おとぎ話。スペイン広場、遊覧船でのダンス。この
作品でアカデミー主演女優賞に輝いた“妖精オードリ
ー”のあどけなさと気品を
そなえたあの微笑を忘れる
ことはできない。

T 10:00/12:10/2:20
/4:30/6:40



6/4(土)～6/6(月) 哀愁

＜監督 マービン・ルロイ 1940年製作＞
ロバート・ティラー＆ヴィヴィアン・リーという
ハリウッドの美女男によるルロイの最高作。ふ
たりを結びつけた戦争という
悪魔が運命の如くその仲を裂く
美しくも哀しい愛の悲劇。
恋愛映画といえば“哀愁”と
答えられるほどラブロマンスの
古典的名作である。

T 10:40/12:40/2:40/
4:40/6:40



6/7(火)～6/9(木) 旅愁

＜監督 ウィリアム・ディターレ 1950年製作＞
美しいビアニスト（ジョーン・フォンテーン）と
アメリカに妻を残した技師（ジョゼフ・コットン）
に芽生えた恋。偶然の飛行
機墜落事故で死亡と伝えられ
たふたりは、それを利用
して閉ざされた愛の生活を
送る。“セブテンバー・ソ
ング”的調べが甘く切ない。

T 11:00/12:55/2:50/
4:45/6:40



6/10(金)～6/12(日) 情婦

＜監督 ピリー・ワイルダー 1957年製作＞
ミステリーの女王クリスティの短篇「検察側の証人」の映画化。愛する男を救うため、自らの命を放棄する女。潔く恋を貫く女を演じて、ディートリッヒはどさわしい女優はない。ラストの二重のドンデン返しも見事な推理映画の傑作。

T 10:25/12:30/
2:35/4:40/6:45



6/13(月)～6/16(木) ガス燈

＜監督 ジョージ・キューカー 1944年製作＞
ヒッチコックの“断崖”と並ぶ心理スリラーの傑作。狂気の一歩手前まで追いつめられる役を、細やかな心理描写で演じたイングリッド・バーグマンが素晴らしい。原作はパトリック・ハミルトンの舞台劇でガス燈が使われていた頃のロンドンが背景。シャルル・ボワイエ共演

T 10:25/12:30/2:35/
4:40/6:45



6/17(金)～6/20(月) スティング

＜監督 ジョージ・ロイ・ヒル 1973年製作＞
1930年代のシカゴを舞台に「明日に向って撃て」の名コンビの演じるチンピラ（ポール・ニューマン、ロバート・レッドフォード）が大ギャングを相手に一世一代の大バクチを仕掛けて大金をせしめる。アカデミー作品

賞以下7部門
を制覇。

T 11:50/2:
05/4:
20/6:35



当日一般 1,500円 学生 1,300円
前売一般 1,200円 学生 1,100円
回数券（3名または3回） 3,000円
チケットは劇場または各プレイガイドにて発売中。

新アサヒ劇場
TEL 078(251)9877
三宮区役所北隣

6/21(火)～6/23(木) ペーパーメーン

＜監督 ピーター・ボグダンovich 1973年製作＞
「信じあい愛し合い助けあえ、紙のお月さまだ
って本物に見えるんだ」史上年少のアカデミー助
演女優のテータム・オニールの名演が光る。実父ラ
イアン・オニール演
するペテン師と長い
田舎道を旅する姿を
通して描く愛の絆。

T 11:20/1:10/
3:00/4:50/
6:40



6/24(金)～6/26(日) イースターパレード

＜監督 チャールズ・ウォルターズ 1948年製作＞
この映画で再びスクリーンにカムバックしたフレッド・アステアの見事なタップダンスを充分に味わ
えるエンターティナーの真骨頂。ジュディ・ガーラ
ンドとアステアの初
顔あわせが新鮮な魅
力を発揮。文句なし
に楽しめる。

T 11:20/1:10/
3:00/4:50/
6:40



6/27(月)～7/1(金) 雨に唄えば

＜監督 G・ケリー、S・ドーネン 1952年製作＞
映画がサイレントからトーキーへの転換期のハリ
ウッドを舞台にしたモダン・ミュージカルの傑作。
どしゃぶりの雨の中を踊るジーン・ケリーのあの名
場面は有名。巨匠

アーサー・フリード
制作によるバッ
クステージもの。

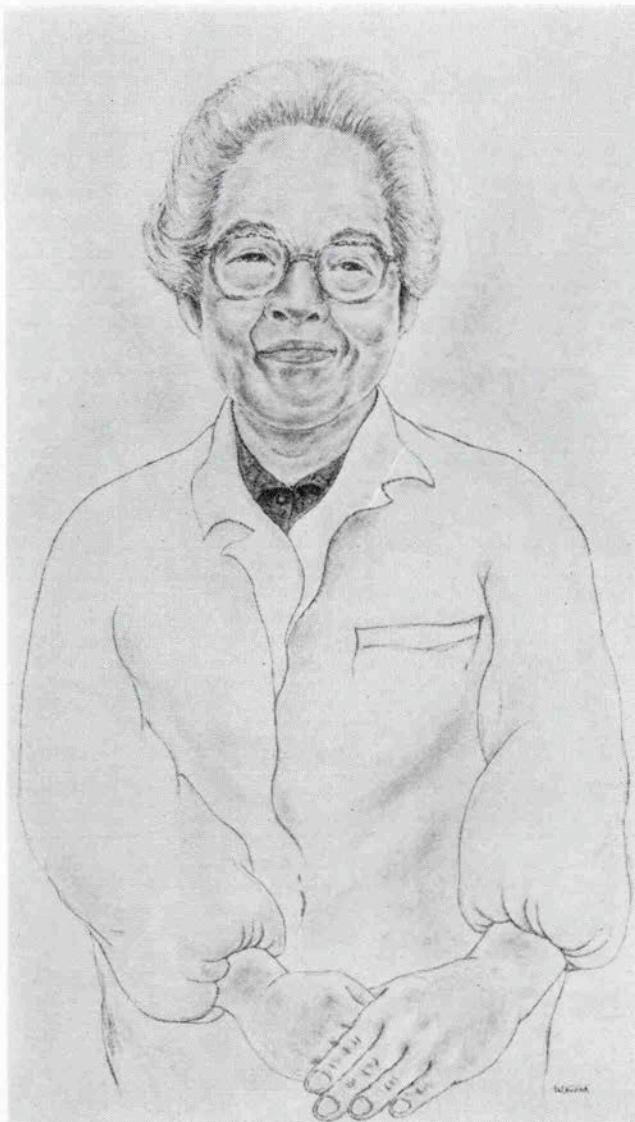
T 11:20/1:10/
3:00/4:
5:00/6:40



立岡佐智央のやあ、神戸つ子

KOBE★街からの肖像シリーズ <5>
母の日に——△異国の味をつくつて38年▽

五月の爽やかな季節に母の日があるのは、カーネエーションの赤い花束とともに馨しく好ましいこと。思えばオギヤと生まれて初めて出会う人がお母さん。ひな鳥の「刷り込み」ではないが、いつの間にか母親の右へ倣えをしている自分に気付いてふと苦笑させられるのもこれ世の習い。お母さん、といえば家事から子育てのフルコースまで昔から苦労の代名詞、とにかくんげんを産み育てる大事業を一手に受け取るのでですからやはりたいへんなこと。人類のあけばの時代より母性信仰の歴史が延々とあるのも肯ける事実です。大いなる愛の根底はきっと母性にその源があるといえるのでしよう。まこと母は尊し、さてお出会いしましたKOBEのオカアサン、割烹着をぬぐ暇もなくて……と急がしく立ち働きながらも、「作るのが楽しくしかたがないのですよ」と微笑まれるのは、純ドイツ式ハム、ソーセージや「スマートサーモンなどの燻製品を作り続けてこられたトアロード・デリカテッセン(本社・中央区北長狭通トアロード)の社長、高橋コトさん。白髪の美しいモダンなこのオカアサン、「わたしは食いしん坊なのですよ、ホホホホ」といとも軽くおっしゃるが、ホントはたいへんな味の求道者。すでに神戸名物と言われる久しい定評の味。有馬工場では今も高橋さん自ら美味求心に余念のない毎日とか。工場ではしめ縄を張り、神様の火をいただいてから火を入れます、と語られるように深い信仰にささえられ、まごころ込めて作り出される味は絶妙の領域。苦を語らず、労を惜しまず、笑顔を絶やさず、とまるで三すの川に橋をも渡しかねぬお人柄、ひとたびこの大らかな体中の笑みに出会つたら、たちまち心のすみまでほのぼの。神戸の国際性豊かな味を生み続け、創りつづけて38年、まさにKOBE、△味▽のお母さんです。



KOBE FASHION SPOT

★ニットショーとパーティード・パントマイムのヨネヤママコさん他の衣裳デザインなどで有名な市野木江充子さん。

サロン・ド・ポートビアで開いている手編みサロン受講生を中心とした作品発表会が3月26日、ポートビアホテル南館B1のサファイ

ヤの間で開催された。身近なものをお洒落に着こなす、というふうで、まずは初

めはスライドを交えて市野木先生からのお話が。ローランサンとカシニヨール



市野木先生のニットショー

話された。K.F.S.中島会長の首頭で乾杯食事会のあと、受講生約20名による作品発表会。ちょっぴり恥ずかしそうにステージを歩く姿が文字通り「手作りの味」を映し出していた。

★ガラスの芸術「ベルマニア」
元町のジムビルにある「ベルマニア」はベネチアンガラスをメインとしたガラス細工のお店。日本で紹介するのは初めてという「ブルー・ア・マディ」の作品が取り扱われている。彼の作り出すガラス細工は繊細で、小さいもの、かわいらしい物などすべてがガラスで出来ている。触角やひげさえもガラスで出来ているので、細心の注意を払わなければならない。オーナーの村田啓二さんは、わざわざヨーロッパまで買いつけに



繊細なガラス細工の数々……

装道礼法学院の山口恵子先生



"A TOUCH OF '60'S"

行き、飛行機の手荷物として品物を持ち帰るそだ。飛行機の手荷物として品物を持ち帰るそだ。飛行機の手荷物として品物を持ち帰るそだ。

お値段の方は「うど、ラズベリーブルーベリー」の千百円から、えんどう豆のセット六万三千円まで。

あなたも一度「ベルマニア」に立ち寄って本物のガラス細工を見て下さい。

きつと欲しくなるはず……。

■ベルマニア 中央区元町通2-1-3-2 ジェムビル 電333-8735

★K.B.T 第25回記念発表会

25年の伝統と技術を持つ神戸美容テクニシャン研究会（K.B.T.）は、4月4日三宮の神戸東急インホテルにおいて「ア・タッチ・オブ・60」というテーマで、一九六〇年代のファッション感覚を取り入れたヘアーファッションショーを行った。

行き、飛行機の手荷物として品物を持ち帰るそだ。

お値段の方は「うど、ラズベリーブルーベリー」の千百円から、えんどう豆のセット六万三千円まで。

あなたも一度「ベルマニア」に立ち寄って本物のガラス細工を見て下さい。

きつと欲しくなるはず……。

★スイスからの贈り物

リュージュ・ミュージック・ボックス

スイスでも有名なリュージュ社のオルゴール展が、4月7日-12日大丸神戸店で開催された。

展示された、普通のオルゴールとは違い

多くなかったが、普通のオルゴールとは違い

一台で何曲も演奏するものや扉が開いて小鳥

がさえずるもの、人形が踊るなどの目をみ

はるものばかり。もちろん、外見だけでなくその透きとおるような音色は聞く人の心を和ませ、夢の世界へ運んでいく。

まことに、夢の世界へ運んでいく。

テレオでもその音は素晴らしい音色になつて

いるが、かつて人間が所有した唯一の音楽を

鑑賞する道具——ミュージック・ボックスに

もう一度耳をかたむけてはいかがですか？

★フランスステーブルウェア

その華麗な世界のコーディネートだけでは

く、コンサルティングやディスプレイも幅広

く手がけ

る木村ふみさんが

5月19日

24日 大丸神戸

「フランスステーブルウェア」展を開催する。



この音色あなたに届かないのが残念

トの楽しさを紹介する。

なお、5月19日11時、2時の2回、木村ふ

みさん本人が来店し、テーブルコーディネー



華麗な世界

話題のひろば

<III>

全関西の

“連絡役”を期待



写真はパーティのスナップから。(右・上から) 中塚、吉本、田崎各氏 (左・上) 新谷英子、宮本豊子、小笠原暁、藤本ハルミ各氏 (左・下) 米花 稔、三林京子、小泉、鳥井各氏。

この春「月刊オール関西」(小泉康夫編集長)が復刊四周年を迎えたが、三月三十一日大阪ロイヤルホテルで、同誌を激励する集いがもたれた。佐治敬三大商議会頭の音頭取りで京阪神の財界人・文化人がずらりと勢揃い。月刊オール関西の“親衛隊”を自認する人々だけに、そのスピーチにも熱がこもる。

「将来の大坂をつくるオピニオン誌としての役割にますます期待したいが、そのためにはもっと売れる雑誌になつて欲しい」とは、中塚大阪21世紀協会理事長の弁。神戸の田崎真珠社長は、「関西の頼りになる雑誌として頑張つて欲しい」と激励。吉本大阪丸ビル社長からは、「今回だけではなくこういう会を春秋二回ほどやりたい」との提案もあり、京阪神連帯の“連絡役”としての月刊オール関西の役割が改めて強調された。

来秋、京阪神で「世界ファッショングエア(WFF)」が開かれるが、清水メルボ紳士服社長、川上住友電工社長は、ともに関西のファッショングエアのオピニオンリーダーとしての同誌に大いなる期待の一言葉を寄せた。

乾杯の音頭は鳥井サントリー副社長。湯井一葉さんのシャンソンタイムもあり、大阪らしからぬ(?)シャレたパーティとなつた。

話題のひろば

<VI>

キヤンベラ号で ウエディングショー



左上／畠尾英久子先生に着付けてもらった外人観光客の花ヨメ花ムコ。（右上）琴演奏は茨木先生親娘（右中）見事な着付け畠尾先生を囲んで。（右下）厳粛に結婚の儀。春を呼ぶキャンベラ号（左下）

「私なんか進駐軍が来ていた頃から外国人の花嫁を着付けてショーモードをやつてたんですけどもの」と畠尾先生。本番の結婚式のセレモニイをお目にかけようと、猪名野神社の松下宮司と恵美子夫人が巫子スタイル。斎藤さん姉妹に、花嫁花ムコのモデルになつてもらつて、神前結婚式。三々九度の儀式に外人観光客もシーンとして見守る。フイナーレは、打掛けやお色直しの花嫁ショーで豪華けんらん。畠尾先生から、エンターテイメントの女性司会者は、金らん緞子の打掛けプレゼントされて大喜びだった

キヤンベラ号（四四、八〇七トン）が神戸港に入港。エージェントのスワイヤマツキンノンの依頼を受け、月刊神戸っ子のプロデュースによる“ジャパン・ウエディングショーア”を午後八時と九時半の二回に公演。外国人観光客約四〇人との国際文化交流を深めた。

オープニングは、茨木春重先生とお嬢さんの二人で琴の演奏“躍動”をテーマに日本の調べを。続いて、琴でサクラサクラや童謡に乗つて、お客様参加の花嫁ショーア。花嫁ショーアの着付は、エリザベス美容室の畠尾英久子先生。この道五〇年のベテランだから、外国人のにわか仕立の花嫁花ムコに着付けるのもお手のもの。

三月九日。春を告げる豪華客船

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

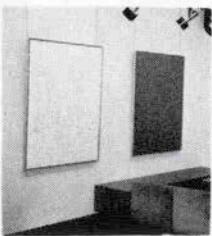


ART

★存在感のある寡默

韓国で生んだ氣鋭の現代画家、鄭相和氏の個展が、元町画廊において4月16日から4月26日の間、4年ぶりに開かれた。

世界的に活躍される氏は、キャンバスに直接描くことを、拒否する姿勢を貫き、



ART

★アメリカ・ブロードウェイからのメッセージ

今、日本でも本場のミュージカルが大人気。その雰囲気を味わえる企画が丸善神戸店で、3月3日～8日の一週間、「映画・ミュージカルボスター展」として開催された。

「シカゴ」「ウエスト・サイド・ストーリー」など



INTRODUCE

★手づくりの心を伝えます

神戸の和菓子屋として、全国的に名を馳せている

「二つ茶屋」。その社長・奥田四郎氏がこのたび会長に

専務職だった小竹睦夫氏が新たに社長職に就かれた。

昭和27年に入社以来、和菓子の伝統の味を引きつづ

ながら、新しい技術に取り組んできた奥田会長。その

手法は小竹社長をはじめとする「二つ茶屋」全体に受けつがれている。

「大量生産ではどうしても何かを考えさせられましたね。」という声が印象的

その作品は、寡默な中にも強烈な存在感を秘めており、安易な鑑賞を許さない。

今回も好評のうちに終了したが、じつと絵の前に立つつくすファンの「何度も何かを考えさせられましたね。」という声が印象的

日本でもお馴染みのオリジナルポスターがズラリ。他にも、ジエームズ・ディーンやマリリン・モンローの写真集・伝記などの洋書も

映画好きには応えられない催しとなつた。



OPEN

★オリエンタルグルメシティ

イ、新装オープン

神戸オリエンタルホテル

地階で営業中のレストラン

街がこの春、改装オープンした。

日本料理の石庭。広東名

菜レストランの桃花春。イ

タリアンレストラン、タベ

ルナ・デル・ルポ、と居な

がらにして世界の味が味わ

え、コスモボリタンゾーン

として華やいだ雰囲気がい

っぱい。特に本格的イタリ

アンレストランの雰囲気を

そのまま表わした「タベル

ナ・デル・ルポ」は豊富な

魚貝類を使つた品々がご自

慢。そしてグルメが納得す

る味を提供し続ける広東料

理の桃花春。明るい店内が

アーミリーにぴったり。

が主流の現代にあつた和菓子を作るのは、昔から続いている手づくりでないと、

その味は出せないです。

「二つ茶屋」の手づくりで、奥田四郎氏がこのたび会長に就いた。専務職だった小竹睦夫氏が新たに社長職に就かれた。昭和27年に入社以来、和菓子の伝統の味を引きつづながら、新しい技術に取り組んできた奥田会長。その手法は小竹社長をはじめとする「二つ茶屋」全体に受けつがれている。大量生産ではどうしても何かを考えさせられましたね。」と今後も甘みの強いお菓子になつてくんでいきます。」と今後

PEOPLE <65>



★コーディネイトが勝負です。

車川 明さん<MAC三宮店・店長>

昭和46年の入社と言うから、今年で16年のベテランだ。8歳、4歳の2人の男の子のお父さんとは、とても見れない若々しさで、趣味がドライブとテニスというのも頷ける。「レディースを始めて7年目。18歳~23歳の方を中心に入気を集めています。女性の場合には特にカラー・コーディネイトに気をつかいますね…」今年もカラフルな色彩が楽しめる。



OPEN

★北野あきら

新オーブン!

ブルーあきらとしておなじみの、あきら美容室

北野店が、4月2日リニューアルオーブンした。オープニングに先立ちパーティーが行われ、西野明先生

や順子先生をはじめ神戸店、北野店のスタッフが勢揃いした。

新しい店内は黒とゴーリドを基調にした、"ネオジャバネスク"。大きな屏風がアクセントとなつて、今までの美容室とは全く違った印象となつている。"美は緊張感から創られる"をモットーにしている"あきら"の女性が、神戸の街に誕生することだろう。

●みよしや会長瀬重雄氏が3月24日、心不全でお亡くなりになられました。86歳。現社長瀬秀昭氏はご子息。



TOICS

●みよしや会長瀬重雄氏が3月24日、心不全でお亡くなりになられました。86歳。現社長瀬秀昭氏はご子息。

●世界初の宝飾品の自動販売機「ジュエリー・ボショウト」が田崎真珠から3月5日、原宿ビブレに設置された。

「ジュエリー・ボショウト」の最大の特長は、現金とクレジットカードのどちらでも利用できること。クレジットカードはキャッシング機能で、トランジット回線を使ってクレジットカードに照会、暗証番号により本人を確認し、代金は所定の日に指定の銀行口座から引き落とされる方法を取っています。

商品は「ジュエリー・ボショウト」のために開発したオリジナルを基調にした「ネオジャバネスク」。大きな屏風がアクセントとなつて、今までの美容室とは全く違った印象となつている。"美は緊張感から創られる"をモットーにしている"あきら"の女性が、神戸の街に誕生することだろう。

●みよしや会長瀬重雄氏が3月24日、心不全でお亡くなりになられました。86歳。現社長瀬秀昭氏はご子息。

●みよしや会長瀬重雄氏が3月24日、心不全でお亡くなりになられました。86歳。現社長瀬秀昭氏はご子息。

●世界初の宝飾品の自動販

売機「ジュエリー・ボショウト」が田崎真珠から3月5日、原宿ビブレに設置された。

「ジュエリー・ボショウト」の最大の特長は、現金と

クレジットカードのどちらで

も利用できること。クレジ

トカードはキヤッキングと同

じ

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」

の

ペ

ン

ダ

ン

ト

」